

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えのん塩川		
○保護者評価実施期間		2025年11月6日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間		2025年11月6日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間		2025年11月6日	～
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	9	(回答数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	喜多方市の事業所で初めて訪問支援が開始され、利用できる支援の選択肢が増えることで、子どもや保護者が必要な支援につながりやすい環境の一助となれると思う。	訪問先との相互理解を図るために、事前に挨拶に伺い、訪問支援の役割や目的について説明している。	関係機関や訪問先とお互いの役割や支援の方向性について理解を深め、連絡や相談を重ねながら連携を強化していく。
2	LINEを導入することで、保護者と密に連絡を取ることができている。	支援内容の報告だけでなく、保護者のニーズや子どもの状況について細かく確認している。	報告書をより読みやすく工夫し、関係機関とも同じ内容を共有することで、支援の質向上につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先と報告や話し合いを行うための会議時間を十分に確保できていない。	利用回数が多い子どもへの訪問では、毎回まとまった時間の調整が難しい状況がある。	ニーズや訪問先の状況に合わせて短時間でも情報共有し、こまめな連携を行っていく。
2	十分な助言や環境調整の進め方が、まだ確立されていない。	訪問支援が今年7月から始まったばかりで、経験や事例の蓄積が少ない。	訪問支援に関する部会や研修に積極的に参加し、知識と実践力を高めていく。

事業所名		えのん塩川							公表日 2025年12月26日	
				利用児童数		11		回収数 11		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			7				
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10			1				
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11							
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	11							
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	9	2						
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1						
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11							
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9	1		1		計画には十分に意向を入れているつもりでしたが、まだ不十分な点があり申し訳ありません。今後もより連携を図り意向を充分確認できるよう努めます。		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1				
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11							
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	11							
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11							
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5	2		4	知らないだけかもしれません、やつていたらすみません	今後どのように開催できるか検討中。		
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができると思っていますか。	11							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1		1		面談は定期的にお声かけさせていただきます。またいつでもご相談ください。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1						
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていますとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1						
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11							
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっていると思いますか。	10	1						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10	1			
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	11				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10			1	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようしていると思いますか。	7			4	
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		1	
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	9	1		1	
	28	事業所の支援に満足していますか。	11				塩川にえのんがありとてもありがとうございます。 いつもありがとうございます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

えのん塩川

公表日 2025年12月26日

利用児童数

9

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6	3	1	報告書を毎回いただいている。話をする機会がないので、具体的な助言があるならば、いただきたい。	7月から開始のため訪問の流れや連携方法についてはご意見や実態をもとにいただき改善中です。今後もご助言よろしくお願ひします
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	6	1	観察の報告書だけでは、わからない。まだよくわかりません。	今後、訪問を重ねて、よりよい支援へとつなげまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	3	1	その機会がない。	今後知識を深めていけるように努めまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことでの課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	5	1	その機会がない。最初の会議の時に保護者の方に児童の学校の様子を伝えたことで家庭での対応を変えられました。	訪問先での関わりなど丁寧に観察し情報共有することで、ご家族様の関わりの1例となったりご家庭でのコミュニケーションが増える事を大切にしています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	3	1	その機会がない。まだよくわかりません。	今後満足いただけるよう支援の質向上に努め参ります。よろしくお願ひいたします。

訪問員と話をする時間があまりとれず申し訳なく思っています。支援員の方の助言など聞く機会が少なくチェック項目の判断ができませんでした

今後さらに専門的で適時、的確な支援をご助言願いたいです。よろしくお願ひ

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援を利用して、支援員さんと一緒に情報の共有ができることが有難く思います。また、訪問時の様子を客観的にとらえ、記録してもらうことで、見えない部分や気づきにつながるとともに、家庭の安心にもなり良かったと思います。幼稚園は、個から集団の育ちを育む中でそれぞれの施設での取り組み、支援の継続をしていくことで、本児の今後、課題、困りごとの軽減に結びしていくと思われます。 月10回来てくださりとても心強いです。しかし、学校の困り感と一致しないところもあり、課題を共有し一緒に考えていく形をとって下さると支援の意味があると思います。 よいお手本も悪いお手本もみえてしまう支援学級ですが、異学年、同学年の付き合い方もしっかり身につけてほしいのでこれからも情報を共有していければ何よりです。いつもありがとうございます。 えのん、学校、家庭の情報を共有することで、互いが安心感をもつことができる。できるだけ児童の良い面を伝え合うことで、良い方向に進んでいきますね。今後もよろしくお願ひします。 児童がえのんさんの訪問を楽しみにしているので、意欲が高まります。 子と保育者、保護者の三者の間をつないで、子ども自身の成長や、まわりの大人の特性理解を深めるために尽力していただきました。 今後さらに専門的で適時、的確な支援をご助言願いたいです。よろしくお願ひいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も丁寧に観察し情報共有していきます。よりよい関わりや支援を一緒に考えて行けるように努めまいりますのでよろしくお願ひいたします。 今後連携をより密に取りながら、ご家族様のニーズと学校のニーズを調整していきます。よろしくお願ひいたします。 今後もよろしくお願ひいたします。 ありがとうございます。色々な環境で意欲的な姿が増えるよう支援の質向上に努めまいります。 ありがとうございます。今後も皆さんと連携を深めていけるように努めまいります。 実績を重ねながら知識や意識の向上を図り支援の質向上に努めまいります。

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名	えのん塩川
------	-------

公表日 2025年12月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境制・整運備・営業	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1	改善点を話し合い共有している。	訪問先への提案に対して、写真などの見本があるとより伝わりやすい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	適切な人数で行えている。 今後訪問件数が増えることを想定すると、もう少し増やしてほしい。	配置人数は現在十分だが、午後もニーズがあれば訪問し丁寧なサポートができるとよい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	目標をたてて職員全員での振り返りを検討している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	毎回ニーズを確認している。 面談や電話等での意見を聞きとりできている。	今回初めてのためこれから。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	毎日の振り返りで、全職員での共有、検討をしながら行えている。 報告書の確認から振り返りや共有を行う。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			第三者委員会の外部評価実績なし。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	1	2	時間をとって研修へ参加させてくれる。	12月より市の会議への参加予定。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	契約の際に十分聞き取れている。内容を分析し計画している。 面談を適切に行い、ニーズに応えている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	ケース会議をひらき、職員で検討できている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	学校側の困りごとや今後の方針もしっかり聞いてきている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画の共有だけでなく、それに沿った支援を行い、訪問記録も毎回共有し確認している。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	必要に応じて専門職員も同行している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	ガイドラインを日々確認しながら行っている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	全職員で共有、1日の目標に合っているか確認している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	目的設定、確認をした上で、訪問へ向かっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	報告書を確認し振り返り、必要に応じて助言や書き直しを行っている。 記録を共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	訪問先、理念をはじめに確認しや聞き取りを行い、そのうえで自分たちのできる支援を検討している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	記録を検証し、全員で支援を考えている。 メモと報告書に残している。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1	定期的に振り返り等が行えている。	必要性について話し合い決めているが十分に伝えられていない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	必要があれば専門の人も関わり参加。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		12月から会議にも参加しより支援体制が組めるのではないか。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		まだ始まったばかりだが今後その予定。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0		今後連携を深めていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	2		12月から訪問会議参加予定。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	報告書を用いている。 共有理解することを更にスムーズにするためLINEも導入。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		家族参加研修や場の設定はできていない。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約の際に説明している。	
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	1	説明書とともに行えている。 連携がうまくいくように話し合う。	目的など十分共有しているつもりだが、さらにわかりやすく記入するよう改善。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	契約の際アセスメントしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	説明の上、記名していただいたいている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	1		面談相談時間は十分とれているがまだ十分ではないためLINE導入。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	3		父母の会など開催できていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	相談、クレーム等には面談等で対応。 いつでも受付できる体制になっている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1	LINEでの連絡をする。	訪問での連絡体制など手紙は出しているが、定期的では行っていない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	鍵付きロッカーでの管理。 訪問先での写真撮影の取り扱いも見直した。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	相談員さん、訪問先と同じ情報共有の中で配慮している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	面談、会議を必要に応じ設定。 訪問先からの振り返りについては、要望に王子、受け入れて支援につなげていく。	
訪問先	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	1	報告書作成と、振り返り時間を必要に応じてつくる。	必要に応じ、時間調整ややり方の検討中。

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	家族、相談員、訪問施設共通に報告書を渡し、共有、その他LINEや電話での共有を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	鍵付きロッカーにて保管。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	1		専門的助言を行うために、更に研修への参加を増やしていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		訪問先との対応の確認などできていないため、今後検討。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		訪問先のことを知っておくことも大切だと思う。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		今後ヒヤリハットがあれば共有していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	保訪、児発、放デイとともに確認。研修参加。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	説明と記載を行っている。	